

## 脊振山～アイゼン・ボッカトレ～

【報 告 者】E 入

【日 時】2017 年 1 月 15 日

【天 候】晴れ/曇り

【参 加 者】I 藤 (CL) 、E 入

### 《コースタイム》

8:30 船越橋発 - 車谷ルート - 10:35 矢筈峠 - 11:00 脊振山 -11:20 脊振山発 -  
11:50 矢筈峠 -12:10 唐人の舞 -13:00 椎原峠 -14:00 鬼ヶ鼻岩 -14:20 椎原峠  
-15:20 登山口 -15:25 船越橋

### 《 報 告 》

新年初の登山、初の冬靴、初アイゼン、初ボッカでした！

諸事情で2ヶ月程登っておらず、次の週末から雪山講習を控え、アイゼンも使った事がなくてもう不安すぎてI藤さんに相談していたら、脊振山でのトレーニングを計画していただきました。

前日によく雪山用に靴を買い、新品おろしたてで挑みました。ボッカっぽい山行は過去にやりましたが水を担ぐのは初めて。前日に登山学校用にパッキングして重さを確認して、それに合わせた重量に…と思いましたが、久々で無理はやめようと、10キロにしました。

当日、船越橋近くに駐車して車谷ルートへ。平地は積もっていなかったのに、辺り一面真っ白。最初の沢沿いでは、ザックの重みと慣れない靴で、バランスを取るのに手間取りました。矢筈峠にあがるまでがきつくて、あがったあともきつくて、尾根にあがった後くらいはI藤さんともう少し歓談したかったのですが余裕が…笑。

脊振山に到着後はしばし休憩。凍てつく寒さに震えながら、硬くて冷たいおにぎりを食べました。ブラウニーなら硬くなってないかと思って取り出したらやっぱり硬かったです。ついつい手袋をはずして食べたり作業してしまいがちですが、手がすぐに凍えるので、もう少し工夫しないとと思いました。

寒いので早々に出発。矢筈峠に戻り、唐人の舞に立寄って一息。

その前後で下り坂になり、私が滑りそうになるのをよそに、I藤さんがスイスイと忍者のように下っていて凄まじかったです。その辺りからアイゼンがないと不安になり、装着と歩行の練習をしました。装着時に雪玉を落としてから履くとかガニ股で歩くとか教えてもらいつつ、実際装着すると、滑る心配はなくなったけれど思った以上に足が重い。そしてすぐに足首が痛くなり、しかも靴ずれ…。しかも足がツルし関節が痛

い（完全に運動不足です）。どうも痛むので、コースはショートカットさせてもらい、小爪峠を經由するのは大事をとって断念しました。鬼ヶ鼻岩に行ってから椎原峠に戻り、下山することに。

鬼ヶ鼻岩に行くまでにはもうアイゼンは脱ぎました。今度はピッケルワーク。肩がけリーシュをザックより先に身に付けるとか、持ち方とかも教わりました。

ストックより小さいのでまだ扱い慣れないですが、登山学校ではストックは持てないので良い練習になりました。

鬼ヶ鼻岩に着くと先客がいて、お酒を飲みながら洋風飯盒？で何か調理してるおじさんが一人。なんか優雅で羨ましかったです。私もお酒が飲みたい。

以降は椎原峠へ戻り、順調に下山。

帰りは温泉後、鳥飼豆腐の地鶏焼きを堪能して一気に疲れが吹き飛びました。

今回の脊振では、アイゼン歩行自体はあまり長くできませんでしたが、アイゼンの着脱や、ピッケルの扱い方、パッキングなど色々な面で雪山のシミュレーションが出来て良かったです。今回の経験を次週の登山学校雪山講習に生かしたいと思います。

